

[平成15年度設置]

大 分 大 学

設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 大分大学
平成19年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務部総務企画課

職名・氏名 企画・法規グループ主査

ヤマモト カズユキ
山 元 一 之

電話番号 097-554-7407

（夜間） 097-554-7407

F A X 097-554-7413

e-mail kikaku@ad.oita-u.ac.jp

大学等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 大分大学

(2) 大学名

大分大学

(3) 大学本部の位置

大分県大分市大字旦野原700番地

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	(ナカヤマ イワオ) 中山 巖 (平成15年10月1日)	(ハノ タダシ) 羽野 忠 (平成17年10月1日)	任満了に伴う交代⑱
教育福祉科学 部長	(オオシマ マコト) 大嶋 誠 (平成15年10月1日)	(ヒラタ トシフミ) 平田 利文 (平成17年10月1日)	前任者理事就任に伴う交代⑱
経済学部長	(ウノ ミノル) 宇野 稔 (平成15年10月1日)	(アベ マコト) 阿部 誠 (平成16年10月1日)	任満了に伴う交代⑰
医学部長	(トリス タケヒコ) 鳥巢 岳彦 (平成15年10月1日)	(ヨシオカ ヒデカツ) 吉岡 秀克 (平成19年4月1日)	前任者定年退職に伴う交代⑲
工学部長	(ハノ タダシ) 羽野 忠 (平成15年10月1日)	(エザキ タダオ) 江崎 忠男 (平成16年1月27日)	任満了に伴う交代⑱

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

<教育福祉科学部 学校教育課程>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育福祉科学部 学校教育課程 学士(教育)	年 4	人 100	年次 人	人 400	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人 100	人 (-) 100	人 (-) 100	人 (-) 100	1.11倍	
志願者数	869	(-) 891	(-) 834	(-) 642		
受験者数	713	(-) 703	(-) 632	(-) 481		
合格者数	115	(-) 114	(-) 119	(-) 114		
B 入学者数	109	(-) 112	(-) 112	(-) 111		
入学定員超過率 B/A	1.09	(-) 1.12	(-) 1.12	(-) 1.11		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次	[0] 109	[0] 112	[0] 112	[0] 111	
2年次	/	[0] 111	[0] 113	[0] 113	
3年次	/	/	[0] 110	[0] 116	
4年次	/	/	/	[] 108	
計	[0] 109	[0] 223	[0] 335	[0] 448	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<教育福祉科学部 学校教育課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	0.9%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 就学意欲の低下、進路変更		
平成18年度	人 [0] 1	0.5%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人
	(主な理由) 就学意欲の低下、進路変更		
平成19年度	人 [0] 1	0.3%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 就学意欲の低下、進路変更		

<教育福祉科学部 情報社会文化課程>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
教育福祉科学部 情報社会文化課程 学士 (教養)	4 年	50 人	年次 人	200 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	50 人	(一) 50 人	(一) 50 人	(一) 50 人	1.11倍	
志願者数	444	(一) 313	(一) 357	(一) 262		
受験者数	323	(一) 236	(一) 254	(一) 180		
合格者数	58	(一) 66	(一) 64	(一) 62		
B 入学者数	53	(一) 57	(一) 56	(一) 57		
入学定員超過率 B/A	1.06	(一) 1.14	(一) 1.12	(一) 1.14		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1 年次	[0] 53	[0] 57	[0] 56	[0] 57	
2 年次	/	[0] 51	[0] 55	[0] 56	
3 年次	/	/	[0] 51	[0] 56	
4 年次	/	/	/	[0] 51	
計	[0] 53	[0] 108	[0] 162	[0] 220	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

＜教育福祉科学部 情報社会文化課程＞

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.9%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	人 [0] 1	0.9%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	人 [0] 1	0.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更		

<教育福祉科学部 人間福祉科学課程>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育福祉科学部 人間福祉科学課程 学士 (教養)	4 年	95 人	年次 人	380 人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	95 人	(-) 95 人	(-) 95 人	(-) 95 人	1.10倍	
志願者数	1,017	(-) 752	(-) 918	(-) 612		
受験者数	762	(-) 561	(-) 695	(-) 473		
合格者数	113	(-) 114	(-) 115	(-) 115		
B 入学者数	105	(-) 105	(-) 104	(-) 107		
入学定員超過率 B/A	1.10	(-) 1.10	(-) 1.09	(-) 1.12		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1 年次	[1] 105	[0] 105	[0] 104	[0] 107	
2 年次	/	[1] 101	[0] 105	[0] 103	
3 年次	/	/	[1] 99	[0] 105	
4 年次	/	/	/	[1] 98	
計	[1] 105	[1] 206	[1] 308	[1] 413	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<教育福祉科学部 人間福祉科学課程>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	人 [0] 1	0.5%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	人 [0] 1	0.3%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更		

<経済学部>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
経済学部	年	人	年次 人	人	
共通(編入学)			3 10	20	
経済学科	4	130		520	
経営システム学科	4	130		520	
地域システム学科	4	45		180	
学士(経済)					

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員		305	(一) 305	(10) 305	(10) 305	1.12倍	所属学科は、 3年次進級時 に決定する。 (数値は学部 全体)
志願者数		1,950	(一) 1,029	(38) 1,104	(44) 955		
受験者数		1,926	(一) 683	(37) 779	(44) 675		
合格者数		412	(一) 412	(11) 413	(10) 379		
B 入学者数		348	(一) 342	(10) 353	(6) 327		
入学定員超過率 B/A		1.14	(一) 1.12	(1.00) 1.15	(0.60) 1.07		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[2] 348	[1] 342	[2] 353	[2] 327	
2年次		/	[2] 345	[1] 339	[1] 347	
3年次		/	/	[2] 353	[1] 342	
4年次		/	/	/	[2] 352	
計		[2] 348	[3] 687	[5] 1,045	[6] 1,368	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<経済学部>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 2	0.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 2人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	人 [0] 5	0.7%	左記のうち、 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 3人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	人 [1] 9	0.9%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 3人 平成18年度入学者 5人
	(主な理由) 進路変更(学力不足)、経済的理由、除籍		

<医学部 医学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称(学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学部 医学科 学士(医学)	6年	85人	年次 人 2(後学期) 10	50人 510	平成19年度編入学試験は、平成19年5月下旬から7月中旬にかけて実施し、入学時期は、後学期(平成19年10月)となる。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

報告年度 区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	85人	(10) 85人	(10) 85人	(10) 85人	1.00倍	平成19年度編入学試験は、平成19年5月下旬から7月中旬にかけて実施し、入学時期は、後学期(平成19年10月)となる。
志願者数	1,508	(319) 622	(359) 984	() 834		
受験者数	669	(97) 515	(100) 588	() 680		
合格者数	85	(23) 85	(22) 86	() 85		
B 入学者数	85	(10) 85	(10) 85	() 85		
入学定員超過率 B/A	1.00	(1.00) 1.00	(1.00) 1.00	() 1.00		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

報告年度 学年	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次	[0] 85	[0] 85	[0] 85	[0] 92	
2年次	/	[0] 95	[0] 85	[0] 83	
3年次	/	/	[0] 95	[0] 103	
4年次	/	/	/	[0] 97	
計	[0] 85	[0] 180	[0] 265	[0] 375	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<医学部 医学科>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.2%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 他の教育機関への入学		
平成18年度	人 [0] 2	1.2%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由) 他の教育機関への入学、就職、就学意欲の低下		
平成19年度	人 [0] 2	0.8%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 他の教育機関への入学、就職、就学意欲の低下		

<医学部 看護学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医学部 看護学科 学士 (看護学)	4年	60人	年次 人 3 10	20 240人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
A 入学定員	人	60	(一) 60人	(10) 60人	(10) 60人	1.01倍	
志願者数		452	(一) 137	(25) 208	(26) 439		
受験者数		268	(一) 104	(21) 142	(20) 262		
合格者数		72	(一) 66	(17) 68	(15) 66		
B 入学者数		60	(一) 60	(10) 62	(10) 61		
入学定員超過率 B/A		1.00	(一) 1.00	(1.00) 1.03	(1.00) 1.01		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 60	[0] 60	[0] 62	[0] 61	
2年次		/	[0] 67	[0] 70	[0] 62	
3年次		/	/	[0] 67	[0] 72	
4年次		/	/	/	[0] 78	
計		[0] 60	[0] 127	[0] 199	[0] 273	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

＜医学部 看護学科＞

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.7%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 他の教育機関への入学		
平成18年度	人 [0] 3	2.5%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 2人
	(主な理由) 他の教育機関への入学、就職、就学意欲の低下		
平成19年度	人 [0] 3	1.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 2人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 他の教育機関への入学、就職、就学意欲の低下		

<工学部 機械・エネルギーシステム工学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次 人	人	
共通 (編入学)	2		3 10	20	
機械・エネルギー システム工学科	4	80		320	
学士 (工学)					

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員		80	(-) / 80	(-) / 80	(-) / 80	1.09倍	
志願者数		407	(-) / 298	(3) / 381	(-) / 365		
受験者数		321	(-) / 190	(3) / 272	(-) / 222		
合格者数		113	(-) / 93	(2) / 96	(-) / 90		
B 入学者数		89	(-) / 86	(2) / 91	(-) / 87		
入学定員超過率 B/A		1.11	(-) / 1.07	(-) / 1.13	(-) / 1.08		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[1] 89	[2] 86	[2] 91	[1] 87	
2年次		/	[2] 88	[2] 86	[2] 91	
3年次		/	/	[2] 90	[2] 86	
4年次		/	/	/	[2] 90	
計		[1] 89	[4] 174	[6] 267	[7] 354	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学部 機械>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.1%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	人 [0] 1	0.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	人 [0] 1	0.4%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更		

<工学部 電気電子工学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次 人	人	
共通 (編入学)	2		3 10	20	
電気電子工学科	4	80		320	
学士 (工学)					

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員		80	(一) 80	() 80	() 80	1.07倍	
志願者数		419	(一) 224	(4) 344	(7) 294		
受験者数		266	(一) 169	(4) 243	(6) 192		
合格者数		93	(一) 96	(2) 95	(4) 94		
B 入学者数		85	(一) 84	(1) 88	(2) 86		
入学定員超過率 B/A		1.06	(一) 1.05	() 1.10	() 1.07		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 85	[2] 84	[2] 88	[0] 86	
2年次		/	[0] 85	[2] 85	[2] 88	
3年次		/	/	[0] 84	[2] 86	
4年次		/	/	/	[0] 82	
計		[0] 85	[2] 169	[4] 257	[4] 342	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学部 電気>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.2%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 除籍		
平成18年度	人 [0] 1	0.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人
	(主な理由) 除籍		
平成19年度	人 [0] 3	1.2%	左記のうち、 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 除籍、就職		

<工学部 知能情報システム工学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次 人	人	
共通 (編入学)	2		3		
知能情報システム 工学科	4	70	10	20	
学士 (工学)				280	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員		70	(一) 70	() 70	() 70	1.10倍	
志願者数		265	(一) 261	(1) 263	(7) 243		
受験者数		192	(一) 163	(1) 187	(7) 173		
合格者数		82	(一) 83	(1) 86	(4) 83		
B 入学者数		76	(一) 79	(1) 76	(4) 80		
入学定員超過率 B/A		1.08	(一) 1.12	() 1.08	() 1.14		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[0] 76	[0] 79	[1] 76	[0] 80	
2年次		/	[0] 76	[2] 79	[1] 76	
3年次		/	/	[] 76	[0] 82	
4年次		/	/	/	[0] 76	
計		[0] 76	[0] 155	[1] 231	[1] 314	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学部 知能>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0]	0.0%	左記のうち、 平成16年度入学者 0人
	(主な理由)		
平成18年度	人 [0] 1	0.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 0人
	(主な理由) その他（一身上の都合）		
平成19年度	人 [0] 2	0.9%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) その他（一身上の都合）、就職		

<工学部 応用化学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次 人	人	
共通 (編入学)	2		3 10	20	
応用化学科	4	60		240	
学士 (工学)					

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員		60	(-) / 60	(-) / 60	(-) / 60	1.06倍	
志願者数		256	(-) / 166	(-) / 293	(-) / 212		
受験者数		154	(-) / 100	(-) / 211	(-) / 137		
合格者数		74	(-) / 76	(-) / 80	(-) / 80		
B 入学者数		57	(-) / 65	(-) / 67	(-) / 67		
入学定員超過率 B/A		0.95	(-) / 1.08	(-) / 1.11	(-) / 1.11		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[1] / 57	[0] / 65	[0] / 67	[0] / 67	
2年次		/	[1] / 57	[0] / 64	[0] / 67	
3年次		/	/	[1] / 56	[0] / 63	
4年次		/	/	/	[1] / 55	
計		[1] / 57	[1] / 122	[1] / 187	[1] / 252	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学部 応化>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 1	1.8%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	人 [0] 2	1.6%	左記のうち、 平成16年度入学者 1人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更		
平成19年度	人 [0] 4	2.1%	左記のうち、 平成16年度入学者 2人 平成17年度入学者 2人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更、就職		

<工学部 福祉環境工学科>

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の 名称 (学位)	認可時の計画				備 考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部	年	人	年次 人	人	
共通 (編入学)	2		3 10	20	
福祉環境工学科	4	80		320	
学士 (工学)					

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区 分	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平均入学定員 超過率	備 考
		人	人	人	人		
A 入学定員		80	(一) 80	() 80	() 80	1.12倍	
志願者数		331	(一) 349	(9) 483	(6) 306		
受験者数		225	(一) 243	(8) 345	(6) 205		
合格者数		100	(一) 104	(6) 99	(5) 99		
B 入学者数		89	(一) 88	(6) 91	(5) 92		
入学定員超過率 B/A		1.11	(一) 1.10	() 1.13	() 1.15		

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	備 考
1年次		[1] 89	[1] 88	[1] 91	[0] 92	
2年次		/	[1] 89	[1] 87	[1] 91	
3年次		/	/	[1] 92	[1] 92	
4年次		/	/	/	[1] 90	
計		[1] 89	[2] 177	[3] 270	[3] 365	

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

<工学部 福祉>

区分 報告年度	退学者等の数	入学者数に対する 退学者数等の割合	退学者等の数の入学年度ごとの内訳
平成17年度	人 [0] 3	3.4%	左記のうち、 平成16年度入学者 3人
	(主な理由) 進路変更		
平成18年度	人 [0] 4	2.3%	左記のうち、 平成16年度入学者 3人 平成17年度入学者 1人
	(主な理由) 進路変更、その他(家庭の事情)		
平成19年度	人 [0] 6	2.2%	左記のうち、 平成16年度入学者 5人 平成17年度入学者 1人 平成18年度入学者 0人
	(主な理由) 進路変更、その他(家庭の事情)、就職		

2 授業科目の概要

<全学部全学科共通（教養教育科目）>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
0	324	0	324	0	407	0	407	
				[0]	[83]	[0]	[83]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	心理臨床のまなざし	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
2	特別なニーズを持つ子ども達	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
3	ドイツ人の日本像	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
4	地中海の都市史	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
5	歴史学	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
6	教育と国家	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
7	姿勢・動作とこころ	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
8	法学	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
9	現代日本政治論	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰
10	人間と社会	2	1～4	選択	カリキュラム編成の都合による，有 ^⑰

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	仮想化について	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
2	人間の発達と障害	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
3	アジアとヨーロッパ	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
4	日本語表現学	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
5	西洋の社会と文化Ⅰ	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
6	西洋の社会と文化Ⅱ	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
7	英語文化論Ⅰ	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
8	英語文化論Ⅱ	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
9	市民生活と租税	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
10	公共投資と地域経済	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
11	地域調査入門	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
12	市民生活と国家	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
13	日本の財政	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
14	医療・福祉と病院経営	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
15	科学の論理	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
16	食と健康	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱
17	ライフサイクルにおける老人福祉	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため，有 ^⑱

18	社会福祉学	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため、有 ^⑱
19	大分の地質	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため、有 ^⑱
20	英語演習	2	1～4	選択	担当教員の転任または退職のため、有 ^⑱
21	バドミントンと戦術Ⅰ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
22	テニスへの招待	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
23	健康ライフと体操Ⅰ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
24	楽しいバスケットボールのゲームⅠ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
25	ベターテニスⅠ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
26	サッカー演習Ⅰ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
27	レッツプレイテニスⅠ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
28	エンジョイバドミントンⅠ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
29	エンジョイバレーボールⅠ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
30	ヘルシーエクササイズ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
31	バスケットボールと戦術Ⅱ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
32	女子サッカーへの招待	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
33	テニス入門	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
34	健康ライフと体操Ⅱ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
35	楽しいバドミントンⅡ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
36	サッカー演習Ⅱ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
37	エンジョイバレーボールⅡ	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
38	日本語特講A	1	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑱
39	現代の産業構造	1	1～4	選択	担当教員の転任または退職に伴うため、有 ^⑲
40	アジア経済の基礎	1	1～4	選択	担当教員の転任または退職に伴うため、有 ^⑲

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

授業科目の廃止については、担当教員の転任または退職とカリキュラムの見直しに伴うものである。代替科目の措置等を行い学生の履修に支障はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.15$$

<教育福祉科学部 学校教育課程>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 221	科目 361	科目 2	科目 584	科目 212 [△ 9]	科目 315 [△46]	科目 0 [△ 2]	科目 527 [△57]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国文法研究	2	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
2	剣道	1	1～2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
3	エネルギー変換機械	2	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
4	内熱機関実験・実習	1	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
5	電気応用	2	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
6	僻地の教育	2	2	必修	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
7	教育評価論	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
8	進路指導の心理学	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
9	社会科授業研究	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
10	実解析	2	2～4	必修	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
11	多変数解析	2	2～4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
12	応用解析	2	3～4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
13	応用理科Ⅱ	2	3～4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
14	機械工学概論	2	1～2	必修	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
15	栽培学	2	1	必修	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
16	栽培学実習	1	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
17	機械工作実習	1	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
18	職業指導	2	3～4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
19	マルチメディア コミュニケーションⅠ	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
20	マルチメディア コミュニケーションⅡ	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
21	技術科教育演習Ⅰ	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
22	新言語学講義	2	1～3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
23	英米文学講義	2	1～3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
24	英語科教育講義	2	1～3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	学校カウンセリング	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
2	調理基礎実験Ⅰ	1	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
3	調理基礎実験Ⅱ	1	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩

4	障害児教育原理	2	3	必修	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
5	障害児教育特講	1	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
6	障害児保健特講	1	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
7	障害児心理特講	1	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
8	障害児心理実験	2	2	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
9	障害児指導特講	1	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
10	言語指導	1	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育福祉科学部では、平成11年度に改組し、現在の形態に至っている。学生のニーズに応えるため、改組に伴って従来の科目を見直し、授業科目を増設した。改組から8年経過し、学部カリキュラムの点検・見直しを行ってきた。その間、学生のニーズも変化してきたため、新たに新設した科目もある一方で、改組当事増設した科目の中には、学生が受講しないケースも出てきた。このため、受講者のいない科目をやむなく不開講あるいは廃止した。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.05$$

<教育福祉科学部 情報社会文化課程>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 51	科目 227	科目 2	科目 280	科目 50 [△ 1]	科目 206 [△21]	科目 0 [△ 2]	科目 256 [△24]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	イスラム文明論Ⅰ	2	2・3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱
2	イスラム文明論Ⅱ	2	2・3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱
3	演劇論・映像論	2	1～3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱
4	子どもと表現教育	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱
5	色彩学	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱
6	情報社会及び情報倫理	2	2～3	必修	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱
7	情報科指導法(高)	2	2～3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑱

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	服飾美学	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
2	総合アート マネージメント演習Ⅰ	3	2	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
3	書道作品研究Ⅰ	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
4	書道作品研究Ⅱ	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
5	書道作品研究Ⅲ	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
6	書道作品研究Ⅳ	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
7	書道作品研究Ⅴ	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
8	書道作品研究Ⅵ	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
9	中国書道史	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
10	日本書道史	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
11	作品鑑賞論Ⅰ	2	2・3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
12	作品鑑賞論Ⅱ	2	2・3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
13	中国書論	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
14	日本書論	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
15	文学概論	2	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
16	文学研究Ⅰ	2	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
17	文学研究Ⅱ	2	2・3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
18	文学研究Ⅲ	2	2・3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
19	書道科指導法(高)	2	2・3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
20	書道科授業論	2	2・3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育福祉科学部では、平成11年度に改組し、現在の形態に至っている。学生のニーズに応えるため、改組に伴って従来の科目を見直し、授業科目を増設した。改組から8年経過し、学部カリキュラムの点検・見直しを行ってきた。その間、学生のニーズも変化してきたため、新たに新設した科目もある一方で、改組当時増設した科目の中には、学生が受講しないケースも出てきた。このため、受講者のいない科目をやむなく不開講あるいは廃止した。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.09$$

<教育福祉科学部 人間福祉科学課程>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 45	科目 246	科目 2	科目 293	科目 47 [2]	科目 223 [△23]	科目 0 [△ 2]	科目 270 [△23]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会福祉とコミュニケーション	2	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
2	あそびの心理学	2	4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
3	発達心理学特講	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
4	環境心理学	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
5	健康心理学	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
6	中高年心理学	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
7	衣科学実験	1	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
8	衣生活と整理	2	1	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
9	高齢者・障害者の食生活	2	2～4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
10	生活と空間	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
11	水質調査法演習	2	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
12	植物地理学概論	2	3	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
13	児童文化論	2	2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
14	スポーツ医学	2	1～2	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩
15	ライフスタイルと栄養	2	2～4	選択	大分近郊から専門分野担当可能適任者が見つからないため、無 ^⑩

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	現代アジア福祉事情	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
2	福祉計画運営論	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
3	福祉経済論	2	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
4	語学ボランティア演習	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
5	看護の英語	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
6	学校カウンセリング	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
7	人間栄養学	2	2	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
8	服飾表現実習	1	2	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
9	衣料学	2	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
10	栄養学	2	2	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
11	食生活史	2	2	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
12	調理基礎実験Ⅰ	1	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
13	調理基礎実験Ⅱ	1	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
14	温泉学	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩

15	土壌環境科学	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑮
16	環境科学演習	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑮
17	レクリエーション演習	1	1	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑰

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教育福祉科学部では、平成11年度に改組し、現在の形態に至っている。学生のニーズに応えるため、改組に伴って従来の科目を見直し、授業科目を増設した。改組から8年経過し、学部カリキュラムの点検・見直しを行ってきた。その間、学生のニーズも変化してきたため、新たに新設した科目もある一方で、改組当時増設した科目の中には、学生が受講しないケースも出てきた。このため、受講者のいない科目をやむなく不開講あるいは廃止した。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.10$$

<経済学部 経済学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 8	科目 105	科目 0	科目 113	科目 7 [△ 1]	科目 103 [△ 2]	科目 0 [0]	科目 110 [△ 3]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	経済原論Ⅰ	4	2～4	必修	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
2	経済原論Ⅱ	4	2～4	必修	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
3	現代資本主義論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
4	統計調査論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
5	経済データ分析	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
6	アメリカの政治経済	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
7	サービス経済論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
8	経済学入門Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
9	法律学概論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
10	法律学概論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラムの見直しに伴い新規の科目を開講しており、学生が段階的にスムーズに履修できるよう配慮をしている。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.08$$

<経済学部 経営システム学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 109	科目 0	科目 115	科目 7 [1]	科目 96 [△13]	科目 0 [0]	科目 103 [△12]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	企業環境論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
2	ホワイトカラー論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
3	生産技術論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
4	生産技術論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
5	オフィスオートメーション論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
6	国際マーケティングⅠ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
7	国際マーケティングⅡ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
8	情報産業論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
9	会計史	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
10	証券取引法	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
11	経営分析論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
12	経営分析論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
13	経済学入門Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
14	法律学概論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
15	法律学概論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラムの見直しに伴い新規の科目を開講しており、学生が段階的にスムーズに履修できるようよう配慮をしている。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.13$$

<経済学部 地域システム学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 6	科目 124	科目 0	科目 130	科目 7 [1]	科目 101 [△23]	科目 0 [0]	科目 108 [△22]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	情報と法	2	1～4	必修	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
2	情報処理論Ⅰ	2	1～4	必修	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
3	情報処理論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
4	比較社会文化論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
5	比較社会文化論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
6	ドイツ語コミュニケーションセミナーⅠ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
7	ドイツ語コミュニケーションセミナーⅡ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
8	フランス語コミュニケーションセミナーⅠ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
9	フランス語コミュニケーションセミナーⅡ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
10	中国語コミュニケーションセミナーⅠ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
11	中国語コミュニケーションセミナーⅡ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
12	外国書購読Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
13	外国書購読Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
14	農村経営論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
15	農村経営論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
16	地域と産業	2	1～4	必修	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
17	生活と健康Ⅰ	2	1～4	必修	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
18	生活と健康Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
19	人間と環境Ⅰ	2	2～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
20	公的扶助論	2	3～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
21	地方自治論	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
22	都市行政論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
23	都市行政論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
24	経済学入門Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
25	法律学概論Ⅰ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
26	法律学概論Ⅱ	2	1～4	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラムの見直しに伴い新規の科目を開講しており、学生が段階的にスムーズに履修できるよう配慮をしている。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.20$$

<医学部 医学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
52	0	0	52	51	0	0	51	
				[△1]	[0]	[0]	[△1]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	生命科学入門	1	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
2	医化学	1	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
3	分子生物学	1	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
4	生命科学チュートリアル	1	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
5	生命科学実習	1	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
6	病院実習	1	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
7	研究室初級配属	1	3	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
8	細胞と組織（正常編）	3	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
9	細胞と組織（病態編）	4	2	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
10	病原体・感染・免疫	4	3	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
11	造血器	2	3	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
12	循環器	3	3	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
13	循環器・腎	6	3	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩
14	泌尿・生殖器	3	3	必修	カリキュラムの見直しのため、有⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目は、カリキュラム充実のため見直しを行ったものであり、代替科目を開講しているため、学生の履修等に支障はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.26$$

<医学部 看護学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 77	科目 13	科目 0	科目 90	科目 77 [0]	科目 13 [0]	科目 0 [0]	科目 90 [0]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
	なし				

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0$$

<工学部 機械・エネルギーシステム工学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 50	科目 78	科目 1	科目 129	科目 55 [5]	科目 73 [△ 5]	科目 1 [0]	科目 129 [0]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	プログラミング	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
2	エネルギー工学セミナー	1	3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
3	化学演習	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
4	有機分子化学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
5	機械設計学	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
6	CAD演習	1	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
7	伝熱機器工学	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
8	基礎電磁気学Ⅱ	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
9	現代物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
10	物性物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラム改正に伴う廃止であり、このことにより学生の選択が狭まり不利益を被ることはない。むしろ選択の新規科目を多く設けてより選択の幅が広まった。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.07$$

<工学部 電気・電子工学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 41	科目 47	科目 1	科目 89	科目 44 [3]	科目 39 [△ 8]	科目 1 [0]	科目 84 [△ 5]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	物理工学	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
2	電力系統工学	1	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
3	エネルギー発生工学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
4	環境電気工学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
5	化学演習	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
6	有機分子化学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
7	基礎電磁気学Ⅱ	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
8	現代物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
9	物性物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の退職に伴う廃止であり、平成18年度入学生から適用される。平成17年度以前の学生については、非常勤講師等に対応するため、履修に支障はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.10$$

<工学部 知能情報システム工学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 38	科目 64	科目 2	科目 104	科目 38 [0]	科目 68 [4]	科目 2 [0]	科目 108 [4]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	化学演習	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
2	有機分子化学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑱
3	基礎電磁気学Ⅱ	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑲
4	現代物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑲
5	物性物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑲

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラム改正に伴う廃止であるが、このことにより専門基礎科目での学生の選択が影響されることはない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.04$$

<工学部 応用化学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 33	科目 52	科目 2	科目 87	科目 35 [2]	科目 52 [0]	科目 2 [0]	科目 89 [2]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	有機合成化学	2	3・4	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
2	化学演習	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
3	有機分子化学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
4	基礎電磁気学Ⅱ	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
5	現代物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩
6	物性物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑩

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラム改正に伴う廃止であり、平成16年度以前入学の学生で受講希望者があれば、関係教員で対応するため、履修に支障はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.06$$

<工学部 福祉環境工学科>

(1) 授業科目表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 58	科目 72	科目 1	科目 131	科目 64 [6]	科目 63 [△ 9]	科目 1 [0]	科目 128 [△ 3]	

(3) 未開講科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
	なし				

(4) 廃止科目 ※平成17年度報告以降

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	コンクリート工学	2	2	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
2	緑地設計	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
3	土木工学概論	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
4	生体運動制御論Ⅱ	2	3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
5	化学演習	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
6	有機分子化学	2	1～3	選択	カリキュラムの見直しのため、有 ^⑩
7	機器設計製図Ⅱ	1.5	3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑰
8	基礎電磁気学Ⅱ	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑰
9	現代物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑰
10	物性物理学	2	2～3	選択	カリキュラムの見直しのため、無 ^⑰

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

カリキュラム改正に伴う廃止であり、新規の選択科目等を増やす等の措置を講じている。
専門基礎科目の学生の履修については、支障はない。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 0.07$$

3 施設・設備の整備状況、経費

(略) ※統合による大学設置のため

4 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学								備考	
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地		
	年	人	年次 人	人		倍				
教育福祉科学部 学校教育課程	4	100	—	400	学士 教育	1.11	平成 15年	〒870-1192 大分県大分市 大字旦野原700番地		
教育福祉科学部 情報社会文化課程	4	50	—	200	学士 教養	1.11				
教育福祉科学部 人間福祉科学課程	4	95	—	380	学士 教養	1.10				
経済学部 経済学科	4	130	3 10	520	学士 経済学	1.12			〒879-5593 大分県由布市 挾間町医大ヶ丘 1丁目1番地	<ul style="list-style-type: none"> ・所属学科は、3年次 進級時に決定する。 ・編入学定員及び定員 超過率は経済学部全 体の数値。
経済学部 経営システム学科	4	130		520	学士 経済学					
経済学部 地域システム学科	4	45		180	学士 経済学					
医学部 医学科	6	85	2 10	510	学士 医学	1.00				
医学部 看護学科	4	60	3 10	240	学士 看護学	1.01				
工学部 機械・エネルギー システム工学科	4	80	3 10	320	学士 工学	1.09		〒870-1192 大分県大分市 大字旦野原700番地		
工学部 電気・電子工学科	4	80		320	学士 工学	1.07				
工学部 知能情報システム 工学科	4	70		280	学士 工学	1.10				
工学部 応用化学科	4	60		240	学士 工学	1.06				
工学部 福祉環境工学科	4	80		320	学士 工学	1.12				

5 教員組織の状況

<教育福祉科学部 学校教育課程>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
36	20	10		66		35	24	5		64		助手数については、認可時に未報告
(36)	(20)	(10)	()	(66)	()	[△1]	[4]	[△5]	[]	[△2]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	阿久根 求	定年退職のため⑩
2	教授	大月 恒	定年退職のため⑩
3	教授	三原 征次	辞職のため⑩
4	助教授	牧野 治敏	学内センターへ移動のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特任教授制度の導入や教員の新規採用等により学生の履修等に対しては、支障はない。

<教育福祉科学部 情報社会文化課程>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
9	4	0		13		9	4	1		14		助手数については、認可時に未報告
(9)	(4)	(0)	()	(13)	()	[0]	[0]	[1]	[]	[1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
		該当無し	

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<教育福祉科学部 人間福祉科学課程>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
12	3	4		19		10	7	1		18		助手数については、認可時に未報告
(12)	(3)	(4)	()	(19)	()	[Δ2]	[4]	[Δ3]	[]	[Δ1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	八 卷 正 治	転出のため⑩
2	教 授	武 井 雅 宏	定年退職のため⑩
3	講 師	安 原 美 帆	辞職のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特任教授制度の導入や教員の新規採用等により学生の履修等に対しては、支障はない。

<経済学部 経済学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
11	6	2		19		12	8	0		20		助手数については、認可時に未報告
(11)	(6)	(2)	()	(19)	()	[1]	[2]	[△2]	[]	[1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
1	教授	児島賢治	死亡による退職のため⑩
2	教授	薛進軍	辞職のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職、辞職に伴う交代については、教員の新規採用、企業からの出向教員及び非常勤講師により対応しており、支障はない。
--

<経済学部 経営システム学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
9	9	0		18		11	8	0		19		助手数については、認可時に未報告
(9)	(9)	(0)	()	(18)	()	[2]	[Δ1]	[0]	[]	[1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	大谷 真 忠	定年退職のため⑩
2	教授	大羽 宏 一	定年退職のため⑩
3	助教授	北山 弘 樹	辞職のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職、辞職に伴う交代については、教員の新規採用、企業からの出向教員及び非常勤講師により対応しており、支障はない。
--

<経済学部 地域システム学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
9	12	1		22		11	8	2		21		助手数については、認可時に未報告
(9)	(12)	(1)	()	(22)	()	[2]	[Δ4]	[1]	[]	[Δ1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	楠 本 宏	定年退職のため⑩
2	助教授	小 林 宏 之	辞職のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職、辞職に伴う交代については、教員の新規採用、企業からの出向教員及び非常勤講師により対応しており、支障はない。
--

<医学部 医学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
36	29	3		68		34	31	2		67		助手数については、認可時に未報告
(36)	(29)	(3)	()	(68)	()	[Δ2]	[2]	[Δ1]	[]	[Δ1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	加 藤 征 治	理事就任のため⑩
2	教 授	古 林 秀 則	病院長就任のため⑩
3	教 授	中 野 重 行	定年退職のため⑩
4	助教授	山 田 直 子	定年退職のため⑩
5	助教授	古 城 昌 展	辞職のため⑩
6	教 授	三 角 順 一	定年退職のため⑩
7	助教授	磯 本 正 二 郎	辞職のため⑩
8	助教授	調 恒 明	辞職のため⑩
9	助教授	今 泉 雅 資	辞職のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>教員の後任補充等を行っており、学生の履修等に支障はない。</p>

<医学部 看護学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
8	3	6		17		10	4	3		17		助手数については、認可時に未報告
(8)	(3)	(6)	()	(17)	()	[2]	[1]	[△3]	[]	[0]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	松 岡 緑	定年退職のため⑱
2	教 授	江 崎 フサ子	定年退職のため⑱
3	助教授	前 川 幸 子	辞職のため⑱

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

教員の後任補充等を行っており、学生の履修等に支障はない。

<工学部 機械・エネルギーシステム工学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
6	5	2		13		8	7	1		16		助手数については、認可時に未報告
(6)	(5)	(2)	()	(13)	()	[2]	[2]	[△1]	[]	[3]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番号	職位	専任教員氏名	辞任(就任辞退を含む)等の理由
		該当なし	

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<工学部 電気電子工学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認可時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
10	3	2		15		10	6	2		18		助手数については、認可時に未報告
(10)	(3)	(2)	()	(15)	()	[0]	[3]	[0]	[]	[3]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番号	職位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教授	野本幸治	定年退職のため⑯
2	教授	岡元保憲	定年退職のため⑯

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>計画的な採用を進めているので、学生の履修等に関する影響はない。</p>
--

<工学部 知能情報システム工学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
6	3	2		11		8	6	2		16		助手数については、認可時に未報告
(6)	(3)	(2)	()	(11)	()	[2]	[3]	[0]	[]	[5]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	奥 本 京	他大学転出のため⑱

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

計画的な採用を進めているので、学生の履修等に関する影響はない。

<工学部 応用化学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
6	8	0		14		5	8	0		13		助手数については、認可時に未報告
(6)	(8)	(0)	()	(14)	()	[△1]	[0]	[0]	[]	[△1]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	森 口 充 暲	定年退職のため⑯
2	教 授	大 賀 一 也	定年退職のため⑯

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>計画的な採用を進めているので、学生の履修等に関する影響はない。</p>
--

<工学部 福祉環境工学科>

(1) 担当教員表

(略) ※統合による大学設置のため

(2) 専任教員数

認 可 時 の 計 画						変 更 状 況						備 考
教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	教 授	准教授	講 師	助 教	計	助 手	
16	15	3		34		12	12	0		24		助手数については、認可時に未報告
(16)	(15)	(3)	()	(34)	()	[Δ4]	[Δ3]	[Δ3]	[]	[Δ10]	[]	

(3) 専任教員交代の理由 ※平成17年度報告以降

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	教 授	佐 藤 誠 治	理事就任のため⑩
2	教 授	宮 川 浩 臣	定年退職のため⑩
3	助教授	酒 井 孝 司	他大学転出のため⑩
4	助教授	中 島 健 治	定年退職のため⑩

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>計画的な採用を進めているので、学生の履修等に関する影響はない。</p>
--

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成15年10月 1日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成16年 5月 1日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成17年 5月 1日)	特になし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成18年 5月 1日)	特になし		

7 その他全般的事項

(1) 設置計画変更事項等

<経済学部>

認 可 時 の 計 画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
○卒業要件単位数 136単位 ・必修科目 28単位 ・選択必修科目 60単位 ・選択科目 48単位	○卒業要件単位数 132単位 ・必修科目 36単位 ・選択必修科目 52単位 ・選択科目 44単位 カリキュラム改正に伴い、学生に段階的かつスムーズに履修可能になるよう配慮し、上記のとおり卒業要件単位数を変更した。

(2) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>(別紙のとおり)</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表(予定)時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成19年7月 公表予定 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学ホームページ上に公開予定(本年7月末を予定) <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度に大学評価・学位授与機構の評価を受ける予定
--

(3) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年7月下旬)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

② 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成19年7月下旬)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)